

今年一年の交通安全を祈願 平成23年交通安全祈願祭



交通死亡事故ゼロを祈願し玉串を捧げる桜庭会長

今年一年の交通事故による死亡者ゼロをめざして、つがる地区交通安全協会（桜庭修会長）が1月5日、平成23年の交通安全祈願祭を三新田神社で行いました。

祈願祭には交通安全母の会員や同協会関係者ら約30人が出席。祝詞奏上の後、桜庭会長、福島市長、鷹山つがる警察署長らが玉串を捧げ、桜庭会長が「交通事故の根絶をめざし、今年もみんなで一丸となって頑張りましょう」とあいさつしました。

つがる警察署管内での昨年の交通事故による犠牲者は、一昨年より2人減の2人となっています。

「しゃこちゃん煎餅」登場 商品化めざして試食会

市商工会が開発を進める遮光器土偶をかたどった「しゃこちゃん煎餅」の試食会が1月15日、街の駅「あるびょん」で開催され、多くの市民が初登場の試作品を味わいました。

商工会では東北新幹線全線開業を機に市の新たなお土産品づくりに取り組み、昨年6月以降、遮光器土偶のデザイン化、焼き型の製作、煎餅の試作を重ねて、材料の配合や焼き色の異なる10種類の試作品を完成させ、披露しました。来場者はそれぞれの煎餅をじっくり味わい、味、外観、価格などについてアンケートに答えていました。

商工会の齋藤晃振興課長は「米粉、小麦粉、ごぼう、ナガイモなど市産の材料を使い、地産地消にこだわっている。アンケートをもとに今年中の商品化をめざす」と目標を話していました。



上) 工夫を凝らした煎餅を試食する買い物客ら
左) 米粉を使ったしゃこちゃん煎餅

航空自衛隊車力分屯基地に中村泰三基地司令が着任



中村泰三基地司令

航空自衛隊第21高射隊・車力分屯基地の井上伸康隊長兼基地司令が昨年12月28日付けで離任となり、同日、新たに中村泰三二等空佐が基地司令として着任しました。

中村司令は神奈川県鎌倉市出身で防衛省航空幕僚監部防衛部から着任。平成7年3月から10年8月まで車力分屯基地に所属していました。

1月7日、着任のあいさつに市役所を訪れた中村司令は「初任地の青森県に来ることができて嬉しく思っている。車力での勤務は2回目となるが、地元の皆さんと情報交換できる態勢を作るとともに、地域のイベントにも積極的に参加して交流深め、良い基地を作っていきたい」とこれからの抱負を述べました。

瑞穂小と稲垣中が全国体育研究優良校表彰



福島市長に受賞の報告をする一戸瑞校長（右）と新戸部一弘校長（中）

文部科学省と財団法人日本学校体育研究連合会主催による第49回全国学校体育研究大会で、学校体育優良校として本県から瑞穂小学校（一戸瑞校長）と稲垣中学校（新戸部一弘校長）が表彰されました。

瑞穂小学校は、児童のスクールバス通学による運動不足の懸念から「生きる力を育み、豊かな健康生活を支える体育・健康教育の実践」として、体力・健康を高める授業や独自の「おらんどの体操」、「すこやか会議」などの取り組みを行っています。

稲垣中学校は、「帰宅後の望ましい生活習慣を確立しよう」をテーマに、帰宅後の生活習慣のアンケートや家庭での一人勉強についての指導などの活動を行っています。

両校の取り組みを聞いた福島市長は「今後も引き続き頑張ってください」と激励しました。

姥島子ども会が全国子ども会連合会表彰を受賞

柏地区の姥島子ども会（成田佳津宏会長）の長年にわたる活動が評価され、平成22年度社団法人全国子ども会連合会表彰を受賞しました。

これは、子ども会と子ども会活動の指導・育成に励んでいる指導者や育成者に対してその業績をたたえ、表彰を行っているもので、春の花壇づくりや神楽相撲など41年間にわたる活動を続けてきた姥島子ども会に表彰状が贈られました。

12月14日、福島市長へ受賞の報告に訪れた子ども会副会長の金沢淳哉さんは「先輩方の積み重ねのたまもの。これからも引き続き活動を活発にしていきたい」と話していました。



福島市長に受賞を報告する金沢淳哉さん（右から2人目）

元気に「はいっ！」郷土に親しむかるた大会



真剣な表情で札を取り合う児童

稲垣子ども会育成連絡協議会（斉藤明会長）が主催する郷土かるた大会が1月10日、稲垣公民館で行われ、小学生30人が学年対抗で熱戦を繰り広げました。

大会は子どもたちに郷土の文化や風土などを継承しようといわれ、札には「昔から 村を守っているんだね 土地の神様 百万遍は」「岩木川 みんなの喉を潤して 田畑を豊かに 休むことなく」などが書かれています。

児童たちは読み手の声に集中。上の句が読み上げられると、一生懸命札を探し、「はいっ」と大きな声を出して札を取り合っていました。